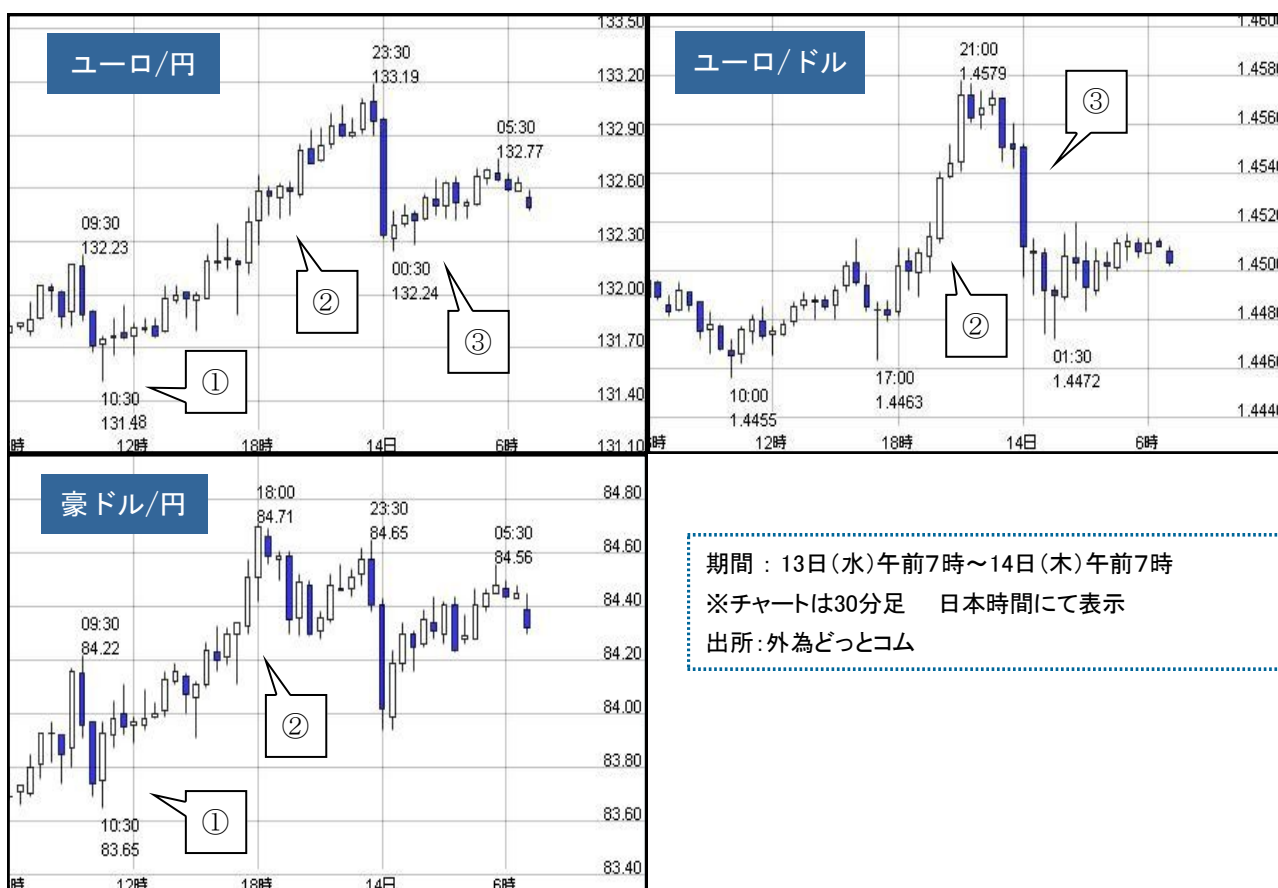


1月14日(木曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

豪雇用統計後の利上げ見通しの変化に注意

13日(水)の主な推移



①

昨日の中国の預金準備率引き上げを受けて、国際商品価格が軟調となったほか、日経平均や上海総合株価指数が下落したことで、リスク回避の円買いが進み、ユーロ/円は 131.48 円、豪ドル/円で 83.65 円の安値を付けた。

②

センタンス英中銀金融政策委員が「利上げを検討する必要がある」との見解を示したことからポンド/円主導でクロス円(ユーロ/円や豪ドル/円など)が上昇した。また、ポンドはドルに対しても強含みとなり、これにつれてユーロもドルに対して上昇した。

③

一部でFRBによる早期の利上げが噂され、米長期金利が上昇すると、ドル買いが強まり、ユーロ/ドルは 1.45ドルを割り込んで急落した。このユーロ売り・ドル買いに連れてユーロ/円も急落した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.4380-1.4580ドル
ユーロ/円 : 131.30-133.80

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 83.20-85.70 円

中国の金融引き締めと思惑を受けてのリスク回避によるユーロ安は一旦落ち着いた模様で、各国の株式市場や商品相場を睨んでの動きとなりそうだ。明確な方向感に欠ける中、リスクを取る動きが強まればユーロ買いで、リスク回避時にはユーロ売りで反応することになるだろう。

本日はECBによる政策金利の発表が行われるが、金融政策の変更は予想されていないため、その後の総裁会見の内容に注目が集まる。

当レポート作成時点では、まだ発表されていないが、12月の豪雇用統計の結果により、2月の利上げへの期待が強まるのか、逆に利上げ期待が後退するのかに注目しておきたい。

中国の預金準備率引き上げのショックは、一旦落ち着きを取り戻したかに見えるが、昨日3%以上の下落となった上海株式市場の動向にも注意が必要であろう。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/14(木)	09:30	◎	(豪) 12月失業率	5.7%	5.8%
		◎	(豪) 12月新規雇用者数	+3.12万人	+1.0万人
	21:45	◎	(ユーロ圏) 欧州中銀金融政策発表	1.0%	1.0%
	22:30	◎	(米) 12月小売売上高 [前月比]	+1.3%	+0.5%
	22:30	○	(米) 1/10までの週の新規失業保険申請件数	43.4万件	43.7万件

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com